

弥生 ひふみのあゆみ

ひふみ投信 3月度 ご報告書

2009年4月7日号

レオス・キャピタルワークス株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第1151号

加入協会: 社団法人投資信託協会

社団法人日本証券投資顧問業協会



RHEOS CAPITAL WORKS

弥生 (3月)

弥生は「いや(弥)おい(生)」が変化したものといわれています。

弥生の語源は、弥(いよいよ)と生(うまれる)という言葉が合わさり出来た熟語で

「生き生きとした月が始まる」という意味が込められているのかもしれませんが。日々

の生活の中でお疲れの方や、気持ちが上がらない方もいらっしゃるかもしれません。

生き生きとした月が始まるこの季節、元気を出して花の咲く季節を楽しみましょう。



お客さまの資産形成のパートナーに「ひふみ投信」をお選びいただき、誠にありがとうございます。
運用責任者から皆さまへのメッセージならびに2009年3月の運用状況などをご報告いたします。

■3月のひふみ投信の運用環境・今後の見通し

ひふみは 3月も「守りながら増やす」運用を継続

3月の株式市場は、上旬は公的資金に買い支えられつつも総悲観でしたが、その後は、海外金融機関や経済指標に明るさが見えてきて、市場のムードが「総悲観」という陰の極から「楽観」に大きく修正され、月末にかけて大きく上昇しました。そのなかでひふみは、一時期大きく下げてヒヤッとしたものの、その後は順調に回復し「守りながら増やす」運用を続けています。3月は、好調な「ファーストリテイリング」や電気自動車に使われるリチウムイオン電池の製造装置を作る「ヒラノテクシード」がしっかりと上昇しました。一方で、調剤薬局の「総合メディカル」が一時的に売られたので買い増しました。また、魅力的ながら高かった銘柄が下がってきたので、数銘柄新規に購入しました。

ようやく訪れた春は まやかし?

先月の当欄で、「3月は日本も含めて世界的に政策がどんどん出てくる時期で「期待」は膨らみますが、初夏にはその効果という「現実」が明らかになってくる」と書きました。まさにその「期待」が大きく膨らんで「総悲観」から「楽観」へと180度転換したのが3月でした。そのなかで大きく変化したのは、①米国の金融機関の不良債権を買取る仕組みが具体化され、G20で時価会計の見直しも示されたことで、金融の問題にとりあえず目途が立ってきたことです。緊急事態ですから止むを得ない部分はあります。ただ、これまで損だと思っていたものを会計のテクニックで問題がなかったように見せることは損失の先送りではありませんし、不良債権を買取ったところで問題が金融機関から移管されただけでも考えられます。実は根本的な解決は、貸付先である個人や会社が健全になることでしかないというのは、日本の経験から明らかだと思います。②また、売れ残った在庫が溜まってしまったので、作る量を減らして在庫を減らし、ようやく在庫が適正になってきて生産が元に戻せるようになってきた、という「在庫調整の終了」については、いずれ終わる問題でしたから驚くことではありません。ただ、最悪期は脱しても最終的なお客様が以前と同じ量を買ってくれない限り、生産設備や人員が大量に余っています。そうすると自分のところだけは多く売りたいと考えるのが会社で、値引きをしても売ることになり、全体としては作っても逆に儲からなくなるのです。根本的な解決は、もちろん需要が戻ることですが、その前に多すぎる設備や人を減らしたり、競争しなくて済むような新しい仕事を見つけてくることしかありません。そうした根本的な問題解決には、今しばらく時間がかかりそうです。いずれの問題も、何しろ100年に一度といわれる世界的調整ですから、小手先の調整では終わらないということです。

ひふみは 変わらず「守りながら増やす」

ひふみでは、根本的な解決にいたるまでは、こうした「期待」がいずれ「現実」に引き戻される局面が来ると考えています。そのような環境では、保有銘柄をより厳しく精査し続け、厳しい状況でも逆に成長し株価の上昇が見込める会社を見極め、しっかりと保有し続けることにより、お預かりしている資産を「守りながら増やせる」と考えています。しばらくは悩ましい状況が続くかとは思いますが、是非、暖かいご支援と理解をいただき、皆さまの資産形成のお手伝いができれば幸いです。

(ひふみ投信 運用責任者 立田博司)

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

■ひふみ投信の特色について

ひふみ投信は、お客さまの長期的な資産形成に貢献するために、円貨での信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、国内・外の上場株式に投資することにより、積極運用を行ないます。

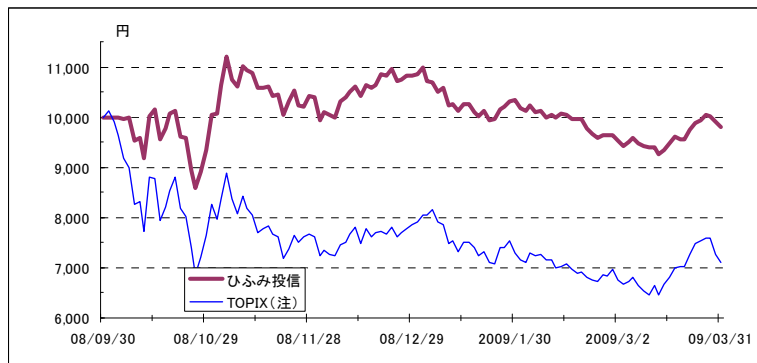
■基準価額について（「ひふみ投信」の値段のことです）

基準価額	
2009年3月31日時点	
1万口当り 9,795円	

基準価額のおゆみ [騰落率]		TOPIX騰落率
過去1カ月	1.66%	2.24%
過去3カ月	-9.79%	-9.96%
過去6カ月	-2.05% (※1)	-28.85% (※2)
設定来	-2.05% (※1)	-28.85% (※2)

- ※1 設定来の基準価額の騰落率は、当初募集価額(10,000円)から2009年3月31日までににおける数値です。
 ※2 設定来のTOPIX騰落率は、当初設定日前日である2008年9月30日から2009年3月31日までににおける数値です。

◆基準価額の推移



(注) TOPIXは、当初設定日前日である2008年9月30日の値(1087.41)を10,000として指数化しています。

※基準価額は、信託報酬(年1.029%(税抜年0.980%))を控除した後の数値です。

★TOPIX(東証株価指数)は当ファンドのベンチマーク(運用する際に目標とする基準)ではありませんが、参考として記載しています。
 TOPIXとは・・・東京証券取引所第一部に上場されているすべての銘柄の時価総額(株数×1株当たり時価)を指数化したものです。
 日本の株式市場全体の動きをあらわすともいえます。

■「ひふみ投信」の資産内容について (2009年3月31日時点)

皆さまからお預かりした大切なご資金で、どのように運用を行なっているのかをご報告いたします。

□ 資産の内訳

純資産総額	2.56億円
うち 株式	67.35%
うち 預金その他	32.65%

国別の割合	
日本株式	100%
海外株式	0%

受益権総口数 (※)	262,289,421 口
------------	---------------

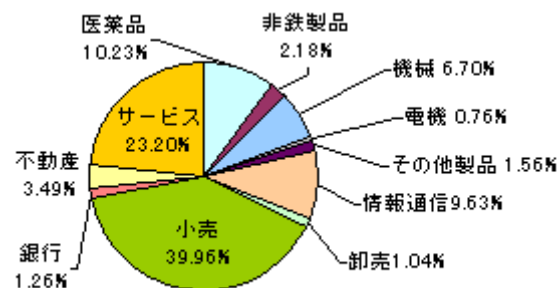
(※・・・「ひふみ投信」をお持ちのお客様の保有口数合計です)

□ 組入比率の高い銘柄 (組入銘柄数:32銘柄)

	銘柄名	業種	比率
1	ファーストリテイリング	小売	5.22%
2	ソフトバンク	情報通信	5.08%
3	スタジオアリス	サービス	4.64%
4	総合メディカル	サービス	4.55%
5	カルチュア・コンビニエンス・クラブ	サービス	4.44%
6	アスクル	小売	4.26%
7	ヤマダ電機	小売	4.15%
8	ニトリ	小売	3.76%
9	DCM Japanホールディングス	小売	3.19%
10	ツムラ	医薬品	3.08%

★組入比率は、株式・預金その他を含めた「純資産総額」に対する割合です。

■ 組入銘柄の業種比率



(注)業種比率は、「株式資産」を100として、それに対する割合です。

- ・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
- ・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

■ お客さまのご質問にお答えします

「ひふみ投信」へのご投資や運用に関して、これまでにお客さまからいただいたご質問をとりあげます。

【ご質問】 基準価額はどこで見ることが出来ますか？

【コミュニケーション・センターがお答えします】

「ひふみ投信」の基準価額は①日本経済新聞 ②当社ホームページ ③YAHOO ファイナンスやモーニングスターといった投資信託情報の検索サイトでご覧になれます。

②当社ホームページが最も早く更新され、当日の基準価額を17時過ぎに掲載しております。

以前は、レオス・キャピタルワークスのホームページのみに掲載しておりましたが、3月末よりひふみ投信専用ページ (http://www.rheos.jp/hifumifund_ca/)にも基準価額情報を掲載し、設定後の推移のグラフも作成しております。将来的には、携帯電話での基準価額配信など、お客様の利便性向上につながるサービスを実現して参りたいと思います。

ひふみ投信専用ページをご覧になっていたお客様より、このお問合せを多く頂いておりました。今までご不便をお掛けし申し訳ありませんでした。

【お客様へのご連絡】 税制が改正されました

2009年3月27日に「所得税法等の一部を改正する法律」が成立し、投資信託の解約益や普通分配金に対する税率は、2011年までは一律に軽減される(10%)ことになりました。内容は次頁をご参照ください。

■ ご参考資料：『ひふみ投信』の組入全銘柄 (2009年3月31日時点)

	銘柄名	比率	銘柄コード	業種	市場
1	ファーストリテイリング	5.22%	9983	小売	東京一部
2	ソフトバンク	5.08%	9984	情報通信	東京一部
3	スタジオアリス	4.64%	2305	サービス	東京一部
4	総合メディカル	4.55%	4775	サービス	東京一部
5	カルチュア・コンビニエンス・クラブ	4.44%	4756	サービス	東京一部
6	アスクル	4.26%	2678	小売	東京一部
7	ヤマダ電機	4.15%	9831	小売	東京一部
8	ニトリ	3.76%	9843	小売	東京一部
9	DCM Japanホールディングス	3.19%	3050	小売	東京一部
10	ツムラ	3.08%	4540	医薬品	東京一部
11	ヒラノテクシード	2.67%	6245	機械	大阪二部
12	第一三共	2.12%	4568	医薬品	東京一部
13	サイゼリヤ	1.88%	7581	小売	東京一部
14	井上金属工業	1.85%	6246	機械	大阪二部
15	ゼンショー	1.76%	7550	小売	東京一部
16	大幸薬品	1.70%	4574	医薬品	東京二部
17	住友金属鉱山	1.47%	5713	非鉄製品	東京一部
18	ワタミ	1.41%	7522	小売	東京一部
19	ワークスアプリケーションズ	1.40%	4329	情報通信	JASDAQ
20	リロ・ホールディング	1.38%	8876	不動産	JASDAQ
21	ソネット・エムスリー	1.13%	2413	サービス	東京一部
22	ビジョン	1.05%	7956	その他製品	東京一部
23	ゴールドクレスト	0.98%	8871	不動産	東京一部
24	ベルク	0.80%	9974	小売	東京一部
25	三井住友フィナンシャルグループ	0.53%	8316	銀行	東京一部
26	日本電産	0.51%	6594	電機	大阪一部
27	ヴァレージヴァンガードコーポレーション	0.50%	2769	小売	JASDAQ
28	タビオ	0.49%	2668	卸売	大阪二部
29	アコーディア・ゴルフ	0.48%	2131	サービス	東京一部
30	エイチ・アイ・エス	0.38%	9603	サービス	東京一部
31	スルガ銀行	0.32%	8358	銀行	東京一部
32	サンリオ	0.21%	8136	卸売	東京一部

★組入比率は、株式・預金その他を含めた「純資産総額」に対する割合です。

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

■ 次回のひふみのあゆみは4月後半にお届けします。

4月のポートフォリオの内容については、次々回(5月初旬)にご報告いたします。

「ひふみ投信」のコミュニケーション(セミナー)のお知らせ

ひふみサロン (ためてふやすはじめの一步)

まだ預金しかしたことがなく、はじめの一步を踏み出せないあなたへ。
「こんなこと聞いてもいいの?」「初歩的なことで気が引ける…」など、お金のことに興味はあるけど、セミナーへの参加は気が引けるというお客様にも安心してご参加いただいております。

① 4月21日(火) 19:00 ~ 20:30

ひふみアカデミー (もっと詳しく知りたい)

投資信託の運用や、株式市場、経済に関して、もっと突っ込んで勉強してみたい方のために「ひふみサロン」よりレベルアップした内容となっております。
特に、100年に1度の世界的金融危機以降、今後の経済や市場の動向についての質問が多く寄せられています。
ファンドマネージャーの説明もさることながら、参加された他のお客様の意見も参考になるとご好評をいただいております。

① 4月9日(木) 19:00 ~ 20:30 ② 4月15日(水) 15:30 ~ 17:00
(①「ひふみ投信」を保有されているお客様向け)

場所 : 当社会議室(東京メトロ半蔵門線 半蔵門駅徒歩4分) <http://www.rheos.jp/about/overview/access.html>

人数 : 各回15名(先着順とさせていただきます)

参加費 : 無料

当社ホームページからお申込みください。 http://www.rheos.jp/hifumifund_ca/seminar.html

■ 税制の改正について

2009年3月27日に「所得税法等の一部を改正する法律」が成立し、投資信託や株式の取引に対する税率が以下のよう
に軽減されることになりました。(下記は2009年4月1日時点での情報に基づいています。)

	① 解約して利益が発生した時	② 普通分配金が支払われた時
税制上の 取扱い	利益は譲渡所得として取扱われる (上場株式の売買益と同じ取扱い)	配当所得として取扱われる (上場株式の配当金と同じ取扱い)
	「ひふみ投信」や他社の投資信託・上場株式の年間の 売買損益(譲渡損益)を通算し、利益が生じた場合 に課税する	

【法改正前】2009・2010年は2段階の税率設定を適用する

税率	「ひふみ投信」や他社の投資信託・上場株式の年間の 売買損益(譲渡損益)を通算した結果、 譲渡益の合計が500万円以下の部分に対して10% " 500万円超の部分に対して20%	年間に受け取った配当金・分配金の合計が 100万円以下の部分に対して10% " 超の部分に対して20%



【法改正後】2009~2011年まで一律軽減税率を適用する

税率	10%	10%

2012年以降は20%の税率が適用となる予定です。

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

◆「ひふみ投信」の概要について ※詳しくは投資信託説明書(目論見書)をご確認ください

商品分類	追加型投信／内外／株式	
当初設定日	平成20年10月1日	
信託期間	無期限	
決算	毎年9月30日(休業日の場合、翌営業日)	
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。	
お申込み	お申込単位	10,000円以上1円単位の金額指定でお申し込みください。 なお、収益分配金の再投資は、1円以上1円単位となります。
	お申込価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
	お申込受付日時	当社営業日の9時～15時までとなります。 (国内の金融商品取引所の売買立会が午前立会のみでの半休日は11時まで)
途中換金	途中換金(解約)単位	1口以上または1円以上
	解約価額	「解約請求受付日」の翌営業日の基準価額となります。
	受付日時	当社営業日の15時(半日営業日は11時)までとなります。 解約のご請求は、お電話による受け付けのみとなります。
課税関係	収益分配時の普通分配金、一部解約時および償還時の差益に対して課税されます。 ※今後税法が改正された場合などには、課税関係が変更になる場合があります。	

◆「ひふみ投信」に係るリスクについて

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります(株価変動リスク)。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります(為替変動リスクとカントリーリスク)。したがって、お客様(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。その他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

◆ お客様の負担となる費用について

◇お客様に直接ご負担いただく費用：ありません

申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額 は一切ありません。
なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用：次のとおりです

信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年1.029%(税抜年0.980%)
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年0.00525%(税抜年0.005%)
その他の費用	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税) 先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用 租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

～お問い合わせ先～
コミュニケーション・センター
電話： 03-5214-0123 (平日9時～17時)
メール： cc@rheos.jp

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。